

発行者：食育のふるさとさかだにをよくする会

発行日：令和4年6月1日

さかだに瓦版（かわらばん）

～阪谷地区の今～

第3号



最近、時代の流れにより地域でいろいろな問題が発生し、**このままでは住み続けていくことができない**という声を耳にするようになってきました。

瓦版の第1号では、阪谷地区の少子高齢化の現状とそれに伴って起こっているいろいろな問題、第2号では、地域の働く場や農業・観光業の実情についてわかったよ。



今回も、みなさんが知っているようで知らない**阪谷地区の今**を、いろんなデータをもとにみていきましょう。

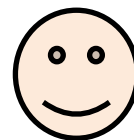
【第3号の内容】

第3章 阪谷地区の生活環境

- 阪谷地区の生活環境、災害と防災
- 阪谷地区の公共交通
- 阪谷地区の移住定住の実情

第3章 阪谷地区の生活環境

瓦版の第1号では、阪谷地区の少子高齢化の現状とそれに伴って起こっている問題について、第2号では、地域の働く場や農業・観光業の実情についていろいろと知ってきたけど、**実際に阪谷地区に住んでみた時、生活環境についてはどうなんだろう？**
他の地域に比べて住みにくかったりするのかな？



よし、じゃあ、今回は、いろいろな面で阪谷地区の生活環境について見ていこう。

～ 阪谷地区の生活環境、災害と防災 ～



阪谷地区は、豊かな緑や星空など**自然環境については豊か**だとみんなが感じていると思うけど、**住んでいくための生活環境**についてはどうだろう。関係するデータをまとめてみたよ。

災害面（風水害）

降水量 [観測地点：大野市春日]

年	平均 年間降水量 (mm)	平均 日最大降水量 (mm)	平均 1時間最大降水量 (mm)
1980年代	2,625.9	100.2	26.9
1990年代	2,238.1	84.5	28.2
2000年代	2,231.5	102.7	34.7
2010年代	2,412.7	113.1	34.9



【主な傾向】

1980年代に比べて降水量自体は減っているが、日最大や時間当たりの最大降水量は増えており、近年は、**短時間にまとまった降水になる傾向**がある。

阪谷地区の災害（風水害）予想の特徴 [大野市総合防災マップ（ハザードマップ）より]

- 阪谷地区では、市街地と比較して「**河川からの洪水浸水想定区域**」は少ないです。
- 山際を中心に「**土砂災害特別警戒区域及び警戒区域**」とされる**区域に民家がある地域があります。**

（次の区の一部：柿ヶ嶋区、不動堂区、橋爪区、金山区、小黒見区）

※詳しくは市HP上に防災マップが掲載されています。
右のQRコードからご確認ください。



市の主な防災への取り組み

- 大野市総合防災マップ（ハザードマップ）の作成
- 防災行政無線や防災メールなど災害情報伝達網の確保
- 水、食糧、毛布、資機材等の備蓄
- 広域防災拠点となる道の駅「越前おおの荒島の郷」の整備
- 自治体や各事業者との防災関係協定の締結
- 大野市総合防災訓練の実施
- 地域防災マップの作成支援
- 結の故郷防災キャンプの開催 など



[市防災倉庫]

阪谷地区は市街地に比べて風水害での河川浸水による災害の危険性は低いけど、その分山際では**土砂崩れの危険性**があるところが何か所かあるんだね。



防災に関しては市全体でもいろいろな取り組みをしているし、**災害時の避難所として、阪谷地区では「阪谷小学校」や「阪谷公民館」が指定**されているよ。だけど、災害は突然やってくるから、私たちもハザードマップを見ながら**日頃の備えと早めの避難**を心がけて、**お隣やご近所とも声を掛け合っ**て取り組む必要があるね。

雪

降雪量 [観測地点：大野市春日]

年	平均年間降雪深 (cm)	平均日合計の最大降雪深 (cm)
1980年代	601.8	44.1
1990年代	458.0	40.2
2000年代	473.3	41.6
2010年代	485.9	41.2



【主な傾向】

1980年代に比べると降雪深は減っているが、日合計の最大降雪深にみるように、一度に降る量としては、そこまで大きくは減少していない。

県・市の主な除雪体制

- 降雪が予想される場合、パトロールを実施し、降雪予報と道路等の状況を確認し、出動の判断を行う。

【出動基準：**積雪深が10cm**を超え、さらに降雪が予想される場合】 ※大野市雪害対策計画より

【国道・県道・県有施設】 → 奥越土木事務所が実施

【市道・市有施設（学校等）】 → 大野市が実施（令和3年度は13の事業者が除雪実施）

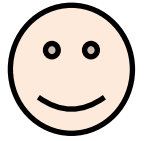
- 令和3年度の阪谷地区の市除雪出動回数：**25回**（※令和2年度は**16回**）



降雪量自体は昔より落ち着いているけど、一度に降る量はそこまで減ってはいないね。このデータは市街地で計測されているものだから阪谷地区はもっと多いだろうね。

だけど、**道路の整備や除雪体制は昔より確立されてきている**から、その面では昔より暮らしやすくなっているのかな。

でも、瓦版の第1号で、**阪谷地区は高齢者だけの世帯が増加しているって聞いたけど、それぞれの家での雪かきや雪下ろしは、体力的に厳しくなっているんじゃないの？**



それに対して、市では次のような取り組みをしているよ。でも、これも地域ぐるみでの助け合いがあつての話だから、**地域自体の高齢化が進むと厳しくなるね。**

高齢者等雪下ろし支援

【制度内容】

- 世帯全員が市民税非課税で、市内に雪下ろしなどの作業をできる親族がいない下記のいずれかに当てはまる世帯に **1世帯当たり 15,000円分のチケットを交付**し、雪下ろし作業者名簿に登録された作業者への支払い支援を行う。(※なお、市税の滞納がない等、その他にも条件あり。)

① 65歳以上のみの世帯 ② 障がい者のみの世帯 ③ 65歳以上と障がい者のみの世帯

【R3年度実績】	助成券利用世帯 (世帯)	助成総額 (円)
大野市全体	213	3,100,000
阪谷地区	15	225,000

地域ぐるみ雪下ろし支援

【制度内容】

- 地域ぐるみ(雪下ろし作業者名簿に登録した自治会)で雪下ろしを実施した時、**1自治体あたり1回のみ 20,000円**を「結の故郷地域が輝く交付金」から活動費として交付する。

【R3年度実績】	交付自治体数 (区)
大野市全体	36
阪谷地区	2



上下水道

簡易水道普及率 [阪谷地区内]

■普及率 = 給水人口 ÷ 給水区域内人口

	給水区域	給水区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)
阪谷第一地区 簡易水道	御領区、橋爪区、菘道区、 落合区	230	206	86.6%
阪谷第二地区 簡易水道	伏石区、森本区、松丸区、 石谷区、大月区	338	286	

農業集落排水接続率 [阪谷地区内]

■接続率 = 接続人口 ÷ 人口

	行政区	人口 (人)	接続人口 (人)	接続率 (%)
阪谷第一地区 農業集落排水	橋爪区、菘道区、落合区	203	193	95.2%
阪谷第二地区 農業集落排水	伏石区、森本区、松丸区、 石谷区、大月区、御領区	365	331	
南六呂師地区 農業集落排水	南六呂師区	187	179	



簡易水道や農業集落排水が整備されている地域とそうじゃない地域があるよ。そうじゃない地域ではそれぞれ個人で井戸を掘ったり、浄化槽を整備したりしているようだね。

公園

公園の設置等状況



■都市公園（市管理）の数：0

■各区管理の公園等の数：18（※各区調査回答（16区回答）より）

形 状：公園（集落センター等会館隣接広場含む）、神社境内

主な管理：年数回の草刈りや清掃、遊具がある場合は点検等の管理



市設の都市公園はないけれど、多くの区で公園や神社の境内などといった場所があるね。あまり利用されていないところもあれば、区の行事の会場になっているところもあって、利用状況は様々だけど、どこも区や有志の方々が草刈りや遊具の点検などといった管理がされているよ。

～ 阪谷地区の公共交通 ～

生活環境として、阪谷地区は市街地から離れているけど、通勤や買い物などで不便な面はないのかな？



福井県はマイカー保有率が全国一位と高く、大野市でも**自家用車**は生活にとって**不可欠な足**となっているね。

だけど、近年は、**高齢化社会において運転免許の返納の流れ**もあり、そういった人にとっては、**自家用車に代わる足として公共交通が非常に重要**になってくるね。

次は公共交通に関するデータを見てみよう。阪谷地区では主に**JR越美北線**と**乗合タクシー**があるよ。あと、参考に運転免許返納に関するデータも載せておくね。

JR越美北線

※全線区間：越前花堂～九頭竜湖

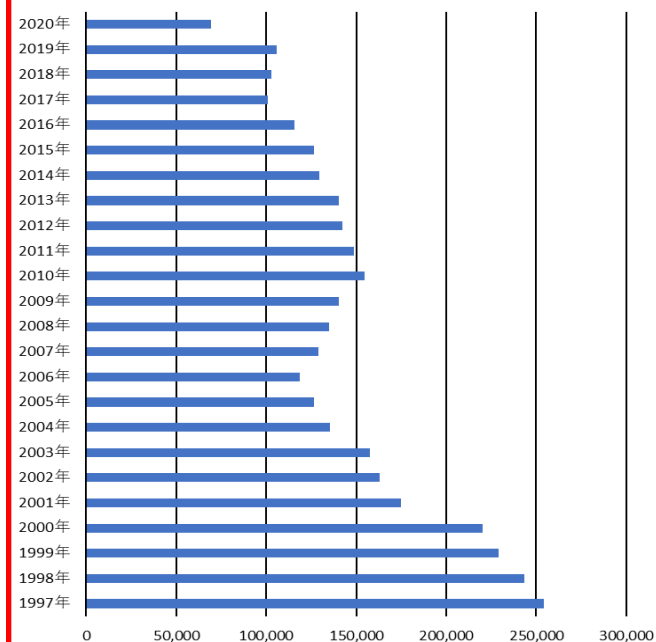
越美北線の乗車人員（年計）の推移

(単位：人)

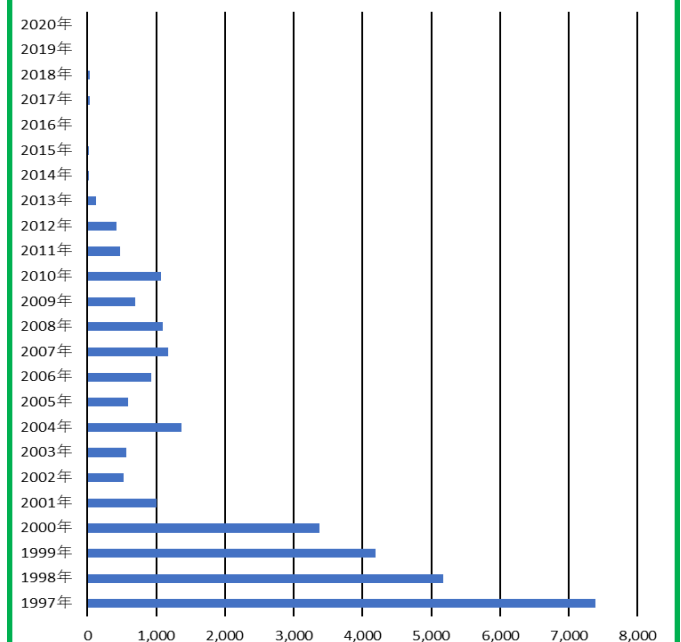
	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
全線合計	474,855	465,018	460,509	456,554	376,247	346,675	344,743	325,856	321,759	302,884	321,850	336,759
市内駅合計	254,360	243,603	229,111	220,159	174,813	163,142	157,856	135,381	126,481	118,737	129,213	135,123
柿ヶ島駅	7,381	5,169	4,189	3,372	1,012	527	561	1,362	587	923	1,180	1,100

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
全線合計	338,164	355,161	348,253	344,631	347,512	336,378	336,578	337,369	339,640	340,485	336,307	243,773
市内駅合計	140,296	154,813	148,976	142,553	140,165	129,529	126,551	115,465	100,999	102,827	105,924	69,153
柿ヶ島駅	694	1,077	469	419	130	18	26	11	35	31	14	10

乗車人員（市内駅合計）



乗車人員（柿ヶ島駅）

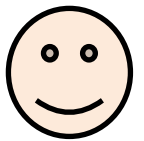


越美北線の経営状況（2018-2020 平均、2017-2019 平均）

線名	区間	営業種	2018-2020係数	2018-2020収支（億円）			平均通過人員（人／日）		
			収支率 (A) / (B)	線区運輸収入 (A)	線区営業費用 (B)	線区営業損失 (A) - (B)	1987年	2020年	2020/ 1987比
越美北線	越前花堂～ 九頭竜湖駅	52.5	6.8%	0.6	8.6	▲8.1	772	260	34%

線名	区間	営業種	2017-2019係数	2017-2019収支（億円）			平均通過人員（人／日）		
			収支率 (A) / (B)	線区運輸収入 (A)	線区営業費用 (B)	線区営業損失 (A) - (B)	1987年	2019年	2019/ 1987比
越美北線	越前花堂～ 九頭竜湖駅	52.5	7.3%	0.7	9.1	▲8.4	772	399	52%

利用者もすごく減ってきているし、経営状況もよくないね…



そうだね。でも、越美北線は**市民にとって欠かすことのできない重要な移動手段であり、また、観光の面でも重要な公共交通**であることは間違いないよ。

過去には、平成16年の福井県嶺北地方を襲った集中豪雨によって、越美北線は鉄橋やレール、路盤なども各地で押し流されるという壊滅的な被害を受けたけど、福井県とJR西日本による40億円以上の費用負担により、平成19年6月30日に全線復旧した歴史もあるんだよ。

今後、利用者の減少や経営の悪化がさらに進めば、路線の便数減少や廃線等の検討にもつながっていく恐れもあるから、**越美北線を将来にわたって存続していくには、みんなで越美北線に乗って、利用していくことが大切**だね。

市では、越美北線の利用促進として、利用者への助成金なども実施しているよ。



乗合タクシー



乗合タクシーは、**バスと同じようにダイヤや停留所**があり、大野市の農村部と市街地の間を運行しているよ。

予約があった場合にのみ運行していて、阪谷地区では「**森目・阪谷線**」が運行されているよ。

乗り合いタクシーの主な利用方法や利用状況等は次のとおりだよ。

【利用方法】

- 利用をするには、電話で予約をする必要があります。
- 電話予約は1時間前まで（上り第1便の利用の場合は前日の17時まで）に大野タクシー（0779-66-2225）へ電話する必要があります。
- 詳しい利用方法は、各路線の時刻表パンフレット上部に記載されていますのでご覧ください。
- 日曜日と祝日、年末年始(12/31～1/3)は運休となります。

【利用料金】

- 運賃は利用距離に応じて300円、400円、500円です。
- 小学生や障害者手帳を提示する方及びその介護者は半額、小学生未満の子供は無料です。
- 2人以上で乗車される場合は、100円の割引がありますので、おそろいでご利用ください。



※詳しくは市HP上に**時刻表パンフレット**が掲載されています。右のQRコードからご確認ください。

乗合タクシー 電話予約 令和3年4月1日現在

森目・阪谷線

この路線で乗車できます。
 病院・福祉施設、日中福祉医療、野成福祉、
 大野市健康福祉センター、児童発達支援センター、
 大野福祉センター(高齢者学習センター)
 3ヵ所留所、1つの目的地のみの利用が可能です。

入車予約の必要。利用距離に応じて
300円、400円、500円
 (小学生以下は半額、障害者手帳を提示する方は半額)
200円、300円、400円(100円割引)
 (小学生未満の子供は無料)

停留所の場所は裏面をご覧ください。

有効期間の注意事項
 ※乗合タクシーの予約は「予約センター」(TEL:0779-66-2225)にて行います。
 ※予約センターの受付時間は、平日午前9時から午後5時30分まで、土曜・日曜・祝日は午前9時から午後5時30分までです。予約センターの受付時間外には、大野市福祉センター(高齢者学習センター)にて予約が可能です。予約センターの受付時間外には、大野市福祉センター(高齢者学習センター)にて予約が可能です。
 ※乗合タクシーの予約は「予約センター」(TEL:0779-66-2225)にて行います。

(乗合タクシーの利用方法(予約方法))

- 1 予約の電話をしてください。
- 2 予約した乗務所へお持ちください。
- 3 目的地の停留所へ戻ります。

大野タクシー ☎66-2225

少し早めに乗務所へ行ってお待ちください。行きの予約をするときに、乗務所の予約時刻をお知らせください。

【時刻表】 予約時

乗務所	①大野福祉センター	②大野福祉センター	③大野福祉センター	④大野福祉センター	⑤大野福祉センター	⑥大野福祉センター	⑦大野福祉センター	⑧大野福祉センター	⑨大野福祉センター	⑩大野福祉センター	⑪大野福祉センター	⑫大野福祉センター	⑬大野福祉センター	⑭大野福祉センター	⑮大野福祉センター	⑯大野福祉センター	⑰大野福祉センター	⑱大野福祉センター	⑲大野福祉センター	⑳大野福祉センター
①大野福祉センター	7:25発	7:30	7:35	7:40	7:45	7:50	7:55	8:05着												
②大野福祉センター		10:10発	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:50着											
③大野福祉センター			13:05発	13:10	13:15	13:20	13:25	13:30	13:35	13:45着										
④大野福祉センター				14:40発	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	15:10	15:20着									
⑤大野福祉センター		10:10着	10:05	10:00	9:55	9:50	9:45	9:40	9:30発											
⑥大野福祉センター			13:05着	13:00	12:55	12:50	12:45	12:40	12:35発											
⑦大野福祉センター				14:40着	14:35	14:30	14:25	14:20	14:15	14:10	14:00発									
⑧大野福祉センター					17:00着	16:55	16:50	16:45	16:40	16:35	16:30	16:20発								

【時刻表パンフレット】

乗合タクシー 森目・阪谷線 停留所位置図



乗合タクシーに関するお得な情報

①2人以上乗車の場合、100円割引になります
 通常の運賃は、距離に応じて300～500円ですが、2人以上乗車した場合は、1人につき100円割引になります。

②「マイ乗車券」を作成します
 ひかえりないで、詳細の案内がわからない! 乗車の停留所がわからない! このような声にお応えし、利用しやすい乗車券とその乗車券の時刻のみを記載した、利用する方専用の「マイ乗車券」を作成します。

乗務所：乗務所 大野市福祉センター(高齢者学習センター) (TEL:0779-66-2225)

③市内在住の65歳以上の方が運転免許自主返納をする場合は、10年間市内を運行するバス等が無料になります

問合せ：乗務所 大野市福祉センター 総機課 (TEL:0779-66-2225)



乗合タクシーの運行状況

【利用者数】

(単位:人)

乗合タクシー路線	主な利用者	試験運行			本格運行 ※試験運行時より便数を削減									
		H21年度 ※10月～	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
森目・阪谷線	高齢者	1,240	2,978	3,471	3,711	3,521	3,099	3,008	3,003	2,142	2,197	1,488	1,115	1,459
大矢戸・乾側線	高齢者	248	474	305	270	456	695	329	275	318	310	375	368	228
友兼・蕨生線	高齢者	750	1,349	1,248	1,372	1,183	998	897	1,051	1,211	1,140	1,244	822	666
小山・木本堀兼線	高齢者	1,131	2,037	1,773	1,955	1,726	2,233	1,755	1,337	1,025	1,133	1,051	719	658
小山・木本堀兼線 定時便	・上庄小児童 (1～2年) ・高齢者	1,922	1,044	816	1,445	800	1,289	2,052	2,029	1,393	1,398	599	845	1,396
計		5,291	7,882	7,613	8,753	7,686	8,314	8,041	7,695	6,089	6,178	4,757	3,869	4,407

【運行経費】

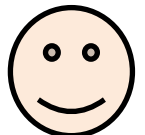
(単位:万円)

乗合タクシー	試験運行			本格運行 ※試験運行時より便数を削減									
	H21年度 ※10月～	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
乗合タクシー全体	1,479	2,642	1,975	2,080	2,091	2,150	2,156	2,171	2,230	1,745	2,174	2,226	2,241
うち数 森目・阪谷線	487	871	651	685	689	709	711	715	735	575	716	734	739

【収支率】

乗合タクシー	運賃収入 ÷ 運行経費	試験運行			本格運行 ※試験運行時より便数を削減									
		H21 ※10月～	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
乗合タクシー全体		7.1%	6.8%	8.6%	9.7%	8.9%	8.6%	9.0%	8.3%	6.3%	7.7%	5.4%	4.5%	4.8%

昔と比べたら利用者数は減っているけど、「森目・阪谷線」はほかの路線と比べて利用者数が多いね。



それだけ地域として必要としている人がいるってことだね。
公共交通はどうしても自家用車に比べれば、個人の「思い通り」に運行できないという不便な面はあるけれど、その分、行政が費用負担をしていることもあり、比較的安価に利用できるという良い点もあるよ。
将来的に公共交通は自動運転やAIによる運行など技術の発展によって便利なものが出てくる可能性はあるけど、まだまだ実用的な段階まではいたっていないから、**現状では、今ある公共交通をうまく利用していくことが重要**だね。
今後、高齢化社会の中、公共交通はより重要になっていくと考えられることから、**どうしたら使いやすいものになるか、また、地域で助け合えることはないかなど、みんなで考えていく必要がある**ね。

※運転免許自主返納支援

【制度内容】

- ・運転免許を自主返納された方に、市内バス路線を10年間無料で乗車できる乗車券を発行。

【無料で利用できるバス路線】

まちなか循環バス

乗合タクシー（大矢戸・乾側線、小山・木本線、森目・阪谷線、友兼・蕨生線）

市営バス（和泉線、和泉地区内、道の駅線）

広域路線バス大野区間内（京福バス：勝山・大野線、大野線）

【対象となる方】

大野市に住民登録のある満年齢65歳以上で運転免許を自主返納された方

※運転免許証の有効期間が経過した（失効した）場合は対象外

運転免許自主返納支援事業 新規申請者数

（単位：人）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
大野市全体	34	27	26	62	66	81	82	126	85	88
阪谷地区	1	0	2	6	3	5	5	8	6	6

～ 阪谷地区の移住定住の実情 ～

ここまでいろいろと生活環境などについてみてきたけど、決して住みにくいわけではないよね。豊かな自然環境も含めると都会の人の中には移り住んできたいと思う人もいるんじゃないかな？

地域として少子高齢化、人口減少が進んでいるのなら、他の地域から阪谷へ移り住んでもらうのも一つの対策方法じゃない？



瓦版の第1号で空き家や空き地の実情について話をしたけど、この課題解決の点でも移住定住の促進は対策の一つだね。大野市でも移住定住の促進に向けていろいろなことを行っているよ。次は移住定住に関するデータを見てみよう。

市が支援をした移住者数

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
相談件数（単位：件）		35	55	47	37	42	81	54	82	109	117	102	67	115	134
移住者数	世帯数（単位：世帯）	0	6	4	5	6	8	5	19	13	22	7	3	13	17
	人数（単位：人）	0	18	15	11	14	14	6	24	14	43	23	7	19	33
うち阪谷への移住者数（単位：人）		—	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

移居前

【相談・体験】

- 移住相談
- 住宅探し等の交通費助成（県補助）
- あなた仕立ての移住体験
- おおのぐらし交流会（情報交換会）

【住居】

- お試し滞在
- 空き家探し
空き家物件の情報収集（中古物件の紹介）
空き家希望者バンクの登録

【仕事】

- ワークステイ（仕事体験）
- Uターン支援（就職活動交通費補助）
- 「SEED プロフェッショナル越前おおの」
（市内企業の紹介）

【子育て】

- 子育ての相談
- 保育所、認定こども園の見学

Uターンとは？

…地方で生まれ育った人が都心で一度勤務した後に、再び自分の生まれ育った故郷に戻って働くこと。

Iターンとは？

…生まれ育った故郷以外の地域に就職・移住すること。

移住後

【相談・体験】

- 移住支援金
- 新婚世帯への祝金（25歳以下）
- おおのぐらし交流会（情報交換会）

【住居】

- 暮らし住まいづくり支援（費用援助）
空き家（中古住宅）購入とリフォーム
多世代同居リフォーム
- 公営住宅（住まいの提供）
市営住宅
町家住宅（優良賃借住宅）
定住促進住宅

- 新婚世帯への居住支援（39歳以下）

【仕事】

- 新規就農者への支援金
- 創業希望者・創業者への相談支援
- 創業や事業継承店舗の新築、改装支援
- 女性U・Iターン就職者応援
（引っ越し支援）

【子育て】

- 大野ですくすく子育てパッケージ
（※大野市独自の子育て支援策）
- 子どもの急な預かり（保育所等）



まだまだ、移住者の数はそれほど多くないけど、相談件数をもっても市外の方で大野への移住定住に興味を持っている方は増えてきているようだね。

阪谷に住む魅力をアピールして移り住んでてもらおうようにするのは、人口減少や空き家の問題の対策の一つと考えられるよ。

市でも、魅力発信やマッチングの相談・支援などいろいろなことを行っているけど、地域としても、そういった移住希望者の方を受け入れる体制などを整えていく必要があるね。

※各データの注釈

	データ提供等	各データ基準日等
P 1 降水量	気象庁HPより	1980年～2019年
阪谷地区の災害（風水害）予想の特徴	市 防災防犯課 （大野市総合防災マップより）	—
P 2 市の主な防災への取り組み	市 防災防犯課	—
降雪量	気象庁HPより	1981年～2019年
県・市の主な除雪体制	市 建設整備課	令和3年度
P 3 高齢者等雪下ろし支援 実績	市 健康長寿課	令和3年度
地域ぐるみ雪下ろし支援 実績	市 地域文化課	令和3年度
P 4 簡易水道普及率〔阪谷地区内〕	市 上下水道課	令和4年3月31日
農業集落排水接続率〔阪谷地区内〕	市 上下水道課	令和4年4月 1日
公園の設置等状況	阪谷地区区長会 協力	—
P 5 越美北線の乗車人員（年計）の推移	市 交通住宅まちづくり課	1997年～2020年
P 6 越美北線の経営状況（2018-2020 平均） （2017-2019 平均）	市 交通住宅まちづくり課 （JR西日本開示データより）	2017年～2020年
P 7 乗合タクシーの利用方法等	市 交通住宅まちづくり課	—
P 8 乗合タクシーの運行状況	市 交通住宅まちづくり課	平成21年度 ～令和3年度
P 9 運転免許自主返納支援事業 新規申請者数	市 市民生活・統計課	平成24年度 ～令和3年度
市が支援をした移住者数	市 地域文化課	平成20年度 ～令和3年度
P 10 市の主な移住定住関係の取り組み	市 地域文化課	—



※さかさきんちゃん（阪谷地区マスコットキャラクター）

過去のさかだに瓦版をまだ見てない人は、
ぜひ一度見てみてね!!
右のQRコードから見られるよ!!



【過去の「さかだに瓦版」の内容】

第1号（令和3年11月1日発行）

第1章 阪谷地区の少子高齢化とそれに伴う問題

- ・ 阪谷の人口及び人口体系の変化
- ・ 阪谷の集落行事（作業）の実情
- ・ 阪谷地区の子育ての実情
- ・ 阪谷地区の空き家、空き地の実情

第2号（令和4年2月1日発行）

第2章 阪谷地区の働く場の実情

- ・ 阪谷地区の働く場の実情
- ・ 阪谷地区の農業の実情
- ・ 阪谷地区の観光業の実情